

市長との 対話 集会

開催報告

5月・6月 開催

支所・文化センターの組織について ～これからの地域拠点のかたち～

2028年4月から段階的に進める支所・文化センターの再編に関して説明し、市民の皆さんから意見を伺うための対話集会を開催しました。



対話集会の
概要はこちら



〈各会場の参加者数〉

日にち	会場	参加者
5月 19日(火)	八千代文化施設フォルテ	35人
	クリスタルアージュ	15人
6月 2日(火)	甲田文化センターミューズ	23人
3日(水)	向原生涯学習センターみらい	20人
4日(木)	美土里生涯学習センターまなび	5人
	高宮田園パラッツォ	31人
5日(金)	クリスタルアージュ	14人
合計		143人

● 会場で頂いた質問や意見への回答を一部紹介します ●

郵便局へ行政事務委託をしても
個人情報の管理は大丈夫ですか？

郵便局はこれまでも貯金や保険、年金など重要な個人情報を取り扱っており、法令に基づく管理体制が整えられています。

支所でできていた手続きなどは
今後どうなりますか？

支所で行っている各種手続きは郵便局で対応できるよう、取り扱い業務を順次拡大します。支所は引き続き相談業務を中心に行います。

集落支援員や生活支援コーディネーターに相談できる内容は？

集落支援員は「地域活動や地域課題」、生活支援コーディネーターは「高齢者福祉や生活支援」を主に担当します。

支所機能が移転した後の建物を
有効に活用してほしい。

準備が整い次第、民間事業者などによる活用を進めます。

福祉や介護、暮らしに関する相
談がしやすい環境にしてほしい。

支所・文化センター統合後の新たな地域拠点では、各種相談を受け付ける機能を強化し、相談内容に応じて本庁や関係機関と連携します。

問秘書広報課 秘書広報係 ☎お太助フォン 42-5627

今月の

市長 コラム

誰もが安心して暮らせるまちを目指して

こんにちは。市長の藤本悦志です。

5月から6月にかけて、支所・文化センターの再編に関する対話集会を開催しました。多くの皆さんにご参加いただき、今回の取り組みに対するご意見をはじめ、日頃感じておられる地域の課題やご提案など、さまざまな声をお聞かせいただきました。心より感謝申し上げます。

対話集会では、なぜ今、支所や文化センターのあり方を見直そうとしているのかについてお話ししました。その背景には人口減少や少子高齢化の進行があります。これまでと同じやり方を続けるだけでは、大切な地域を守り続けることが難しくなります。だからこそ、変えるべきところは変えながら、守るべきものを守り、未来へつないでいく。そのための取り組みが、今回の再編です。

本コラムでは、対話集会でお伝えした、私が目指す4つのまちの姿をご紹介します。

①誰もが相談できるまち

困ったときに安心して相談でき、必要な支援へとつながる環境を整えます。

②地域のつながりが守られるまち

集落支援員や生活支援コーディネーターなどと連携し、人と人のつながりや地域活動を支えていきます。

③移動が難しい人も安心して暮らせるまち

車を運転できない方や交通手段が限られる方でも、身近な場所で行政サービスを受けられるよう、郵便局などとの連携を進めていきます。

④文化・学び・行政がつながるまち

文化センターや図書館、行政機能を結び付け、人が集い、学び、交流する地域の拠点をつくっていきます。

支所・文化センターの組織再編は、単に施設や組織を見直すためのものではありません。地域を守り、次の世代へつないでいくための新しい挑戦です。

これからも、市民の皆さんの声を何より大切にしながら、一緒に知恵を出し合い、誰も置き去りにしない、あったかいまちを築いてまいります。

お気付きのことやお困りごとがありましたら、どうぞ遠慮なく声をお寄せください。皆さまと共に、安芸高田市の未来をつくってまいります。

誰も置き去りにしない
あったかいまちに向けて



市民の声を市政へ

皆さんの意見がより良いまちづくりにつながります

市では、市民の方から頂く意見や提案を、市政運営や業務改善に生かしています。「地域で困っていることがある」、「市の取り組みについて意見がある」、「こうしたらもっと良くなるのではないかな」など、市政へ伝えたいことがある場合は、下記の方法またはお近くの職員へ気軽に声をお聞かせください。

ご意見箱

市政に関するご意見
ご要望をお寄せください

ご意見箱

市役所本庁や各支所に設置しています。

お問い合わせフォーム

市ホームページで24時間受け付けています。



問秘書広報課 秘書広報係 ☎お太助フォン 42-5627